

事業所自己評価

事業所名：LITALICOジュニア ふじみ野 教室

サービス：保育所等訪問支援

評価実施日：2025/03/13

担当者：四元佑華

事業所内分析

事業所の強み

- ・教室の指導員が保育所等訪問支援も実施するため、お子さまの現状の把握や訪問先とリタリコが連携した支援を提供することができる。
- ・園でのお子様のご様子を指導員から親御様に共有することで、親御様の安心につながる。

事業所の弱み

- ・訪問支援員も午後は教室で指導を行っているため、訪問時間が午前中のみに限られている。
- ・園との日程調整に時間がかかり、園の先生の負担感が高まる場合がある。

分析・検討結果

工夫していることや意識的に行っている取組等

- ・訪問先が日程調整しやすくなるよう、メールやFAXを使用して、日程を調整している。
- ・親御様の不安感を丁寧にアセスメントし、園の訪問時に重点的にアプローチしていく。お子様のできている所を親御様にお伝えし、アプローチが必要な所は親御様と共有しながら支援の方針を3者（親御様・園・リタリコ）で共有している。
- ・親御様と園の先生の架け橋になれるように工夫している。親御様が感じている園への感謝や聞きたかったことをリタリコが園にお伝えしたり、園からお伝えしたいことを、リタリコから親御様にお伝えすることで、双方の信頼関係をより深められるよう、やり取りしている。

事業所として考えている課題の要因等

- ・訪問先との日程調整をよりスムーズに行い、訪問先の負担感を減らしていきたい。
- ・親御様とのフィードバックをより良くしていくために、訪問後1週間以内にフィードバックできる環境を調整していく。

改善への取り組み

さらに充実を図るための取組等

- ・日程調整が担任の先生のご負担にならないように、訪問先と調整の上、窓口を担当の先生以外にしたり、調整しやすいツール（メールやFAX等）を事前に決めておく。
- ・訪問先によっては行事等で忙しい月があるため、その場合はフィードバックの時間を短くしたする等工夫を行い、1回の訪問の負担感を減らしながらも、月2回は訪問できるように調整していく。
- ・親御様や園との関係性を構築していくために、訪問スタッフを固定にすべきか、複数の指導員で多角的に支援していくのか、3者（親御様・園・リタリコ）で合意形成を図っていく。

改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等

- ・訪問が始まる前に、日程調整の方法、訪問先の忙しい時期、訪問に携わるスタッフの人数等ヒアリングを行い、3者（親御様・園・リタリコ）で合意形成を図っていく。
- ・訪問支援員の訪問できる曜日を増やすことで、親御様にフィードバックしやすい環境を作っていく。